

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒225-0014
 住 所 神奈川県横浜市青葉区荏田西2-3-2
 氏 名 株式会社クリエイトエス・ディー
 代表取締役社長 廣瀬 泰三

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社クリエイト エス・ディー		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市宮前区土橋5-1-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業、小売業
	中分類	60	その他の小売業
主たる事業 の内容	ドラッグストア、調剤薬局の経営		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,042	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
		電話番号	
		FAX番号	
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2018年度～2020年度 (報告年度 2020年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,053 (調) 3,011 t-CO ₂	(実) 3,340 (調) 3,292 t-CO ₂	(実) 3,779 (調) 3,724 t-CO ₂	(実) 3,851 (調) 3,795 t-CO ₂	(実) 2,962 t-CO ₂
削減率		(実) -9.4 % (調)	(実) -23.8 % (調)	(実) -26.1 % (調)	(実) 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	面積×時間比		単位	t-CO ₂ /千㎡h	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値	172.0	158.2	166.4	151.0	166.8
削減率		8.0 %	3.3 %	12.2 %	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	特に2018年7月と8月の猛暑により、使用電力量のアップが主な原因と考えられる。
第2年度	2店舗追加された事と、2019年8月と9月の猛暑により、使用電力量のアップが主な原因と考えられる。 8月は基準年度よりも1.8℃、9月は基準年度よりも2.1℃平均気温が高かった。
第3年度	計画期間内に4店舗追加されたことと、地球温暖化の影響で夏場の使用電力量が増加したことが目標排出量を達成できなかった原因と考えられる。原単位の値は目標を達成できているのは、追加店舗や増床店舗への設備効率化施策が効果的だった。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、 第 2 号、 第 4 号該当者等)	計 画	<p>弊社では平成 21 年からいち早く省エネ対策の取組みを実施しております。 具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①店舗別エネルギー消費量の把握 ②エアコン運用ルールを作成し全店で実施 ③店内照明の点灯ルールを作成し全店で実施 ④お買物袋ご持参運動の全店実施 ⑤店長会議にて取組み結果報告 <p>を実施して参りました。引き続きこの施策を継続します。 加えて既存の事業所においても</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥高効率照明器具への更新 (LED照明器具等の導入) ⑦高効率空調設備の導入 <p>等を計画的に実施します。</p>
	第 1 年度	<ul style="list-style-type: none"> ①店舗別エネルギー消費量の把握 ②エアコン運用ルールを作成し全店で実施 ③店内照明の点灯ルールを作成し全店で実施 ④お買物袋ご持参運動の全店実施 ⑥高効率照明器具への更新 (LED照明器具等の導入) ⑦高効率空調設備の導入 <p>上記を実施して参りました。</p>
	第 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ①店舗別エネルギー消費量の把握 ②エアコン運用ルールを作成し全店で実施 ③店内照明の点灯ルールを作成し全店で実施 ④お買物袋ご持参運動の全店実施 ⑥高効率照明器具への更新 (LED照明器具等の導入) ⑦高効率空調設備の導入 <p>上記を実施して参りました。</p>
	第 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ①店舗別エネルギー消費量の把握 ②エアコン運用ルールを作成し全店で実施 ③店内照明の点灯ルールを作成し全店で実施 ④お買物袋ご持参運動の全店実施 ⑥高効率照明器具への更新 (LED照明器具等の導入) ⑦高効率空調設備の導入 <p>上記を実施して参りました。</p>
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	3,629	t-CO ₂
(調)	3,509	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k _l 未満	
300～400k _l 未満	
200～300k _l 未満	
100～200k _l 未満	
100k _l 未満	40

(3) 事業所等単位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--